

# 山口新聞

平成 25 年 7 月 5 日 (金)

NO.62

農地・水・環境

## 守ろう地域の手に



62

したが、最初に整備した地区ほど農道や水路の痛みが進んでいる。

当会では施設の補修を行う一方、非農家に環境活動

成メンバーの嘉年ゆめ倶楽部が中心となり、ユウスゲの植栽や、ゆめ倶楽部だよりの全戸配布なども行っている。

への参加を呼びかけ、チューリップ、ヒマワリ、パンジーなど花の苗を植栽。構

過疎化、高齢化は深刻だが、当会の点検活動によって自分たちで補修する体制は整いつつある。地域の農地を守るため「嘉年地域がひとつの家族」となり、昔ながらの「結」の精神で活動を続けたい。

当会エリアの嘉年地域は「水出の泉」などの名水があり、まさに阿武川の源流である。山口県の名峰・十種ヶ峰の北西側に位置し、

## 嘉年地域がひとつの家族に

阿武川源流保全会 (山口市)

(会長、上田法生)

— 金曜日掲載 —



① 会員の皆さん  
② パンジー、ヒオラなど花の苗の植栽に力を入れている (神田集落)

【メモ】会長 上田法生  
▽会員 376人、農家 (164戸)、阿東土地改良区嘉年地区運営委員会、嘉年地区中山間直接支払集落協定、嘉年ゆめ倶楽部、農事組合法人嘉年ハイランド▽設立 2007年8月27日▽連絡先 山口市阿東嘉年上 2337、上田法生さん ☎083・958・0141